

かみ

議会だより

平成25年
9月定例会
第35号



負けないぞ!!

(村岡中学校体育祭)

- CONTENTS -

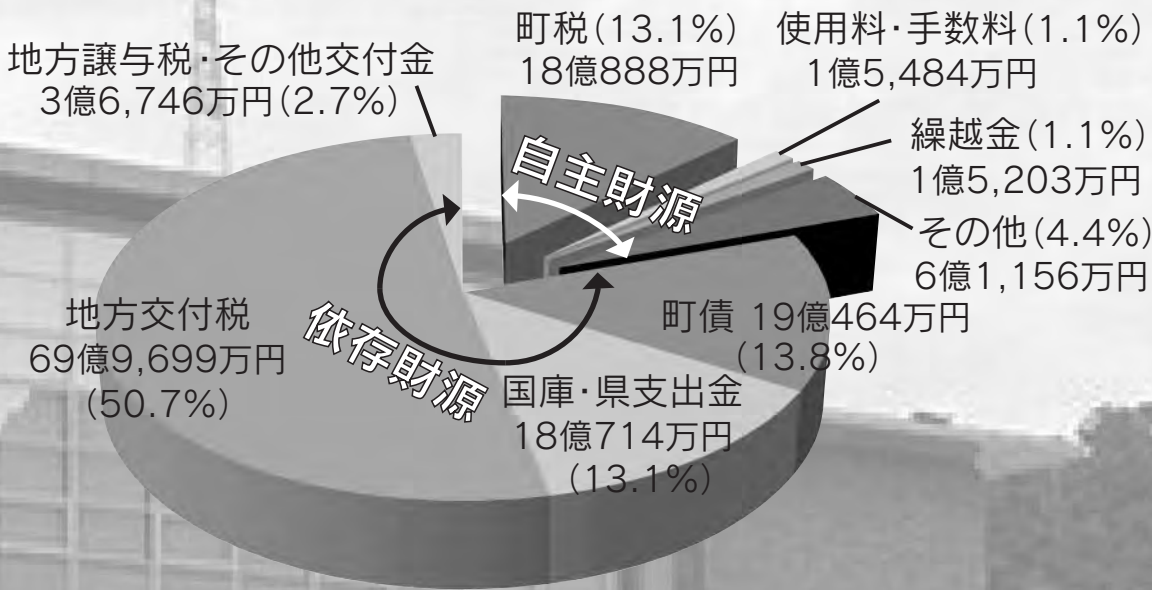
- **平成24年度決算認定** 2～4
- 補正予算 6～7
- 住民の声 届くか (13人が一般質問) 11～17
- この人 ここにあり 18

平成24年度一般会計決算

認定

歳入

138億354万円



平成24年度決算は決算特別委員会（議長・監査委員を除く14名）に付託され、一般会計および10の特別会計の審査を行いました。

実質収支額は一般会計では2億4千313万円の黒字、特別会計は8千379万円の赤字となりました。

決算委員会の質疑では、臨時職員の増加による正規職員の減少を危惧する声や、不用額を精査し、できるだけ減少させるよう求めるなど様々な質疑があり、9月定例会最終日には、森利秋決算特別委員長より原案認定の委員会審査報告があり、平成24年度一般会計、特別会計とも決算を認定しました。

町民税	6億6,897万円 (+3%)
個人	6億128万円 (+4%)
法人	6,769万円 (-9%)
固定資産税	9億7,672万円 (-6%)
軽自動車税	5,230万円 (-1%)
町たばこ税	9,974万円 (-4%)
入湯税	1,115万円 (+7%)
町税合計	18億888万円 (-3%)

各財政指数

財政調整基金 18億7,200万円 (46%増)

実質公債費比率 19.1% (1.6ポイント減)

経常収支比率 86.1% (4.6ポイント減)

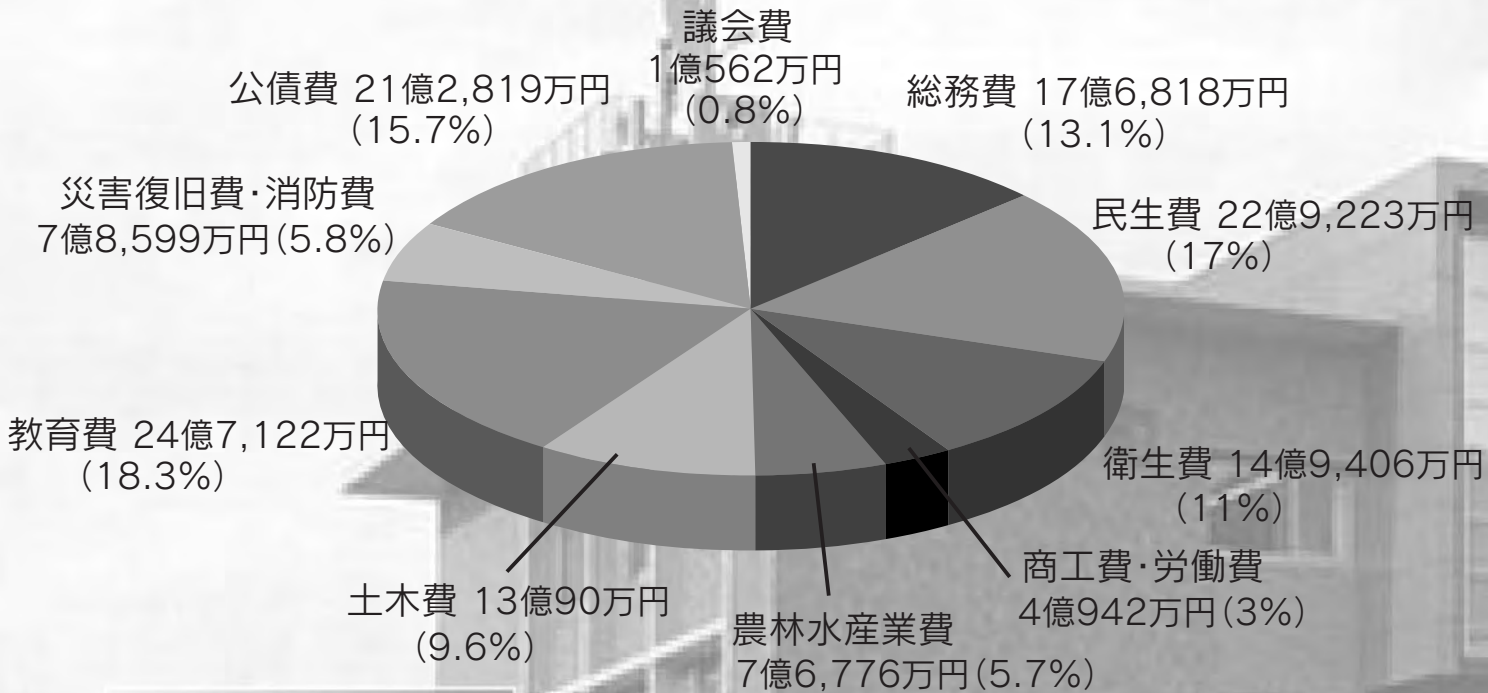
経常収支比率とは？

財政構造の弾力性を測定する指標。低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示している。

香美町の家計簿

135億2,357万円

歳出



主な施策

地域コミュニティの活性化
4,316万円

商工業・地場産業等の振興
6,863万円

保険・医療の推進
7億1,367万円

児童福祉・子育て支援の推進
7億1,894万円

担い手が育つ農業の振興
2億3,835万円

活気にあふれた水産業づくり
7,260万円

道路網の整備
1億5,082万円

学校教育の充実
12億8,654万円

平成24年度各会計の歳入・歳出と議決状況

(単位:千円)

会計別		歳入	歳出	議決状況
一般会計		13,803,542	13,523,572	賛成多数で認定
特別会計	国民健康保険事業	2,751,392	2,857,224	全員賛成で認定
	後期高齢者医療保険事業	271,154	266,532	賛成多数で認定
	介護保険事業	2,092,480	2,087,023	全員賛成で認定
	簡易水道事業	458,018	451,827	全員賛成で認定
	下水道事業	1,751,185	1,746,993	全員賛成で認定
	財産区	2,546	969	全員賛成で認定
	町立地方卸売市場事業	1,803	1,803	全員賛成で認定
	国民宿舎事業	32,952	32,952	全員賛成で認定
	矢田川憩いの村事業	31,783	31,783	全員賛成で認定
	宅地造成事業	4,544	4,544	全員賛成で認定

質疑

決算特別委員会での主な質疑は次のとおりです。

問 正規職員が減り、非正規職員が増えている状況をどのように考えているか

答 事務の種類や性質に応じ、最適と考える任用勤務形態の人員構成により、最小のコストで最も効果的な行政サービスを提供することが重要だと考えています。しかし、行政を運営していく上で、不都合が生じるときは適切な判断をしていきます。

問 産業活性化緊急対策事業(住宅リフォーム助成事業)をどのように評価しているのか

答 事業完了後のアンケートで、約2割の方が本制度があつたので工事を実施したと回答されています。少なからず効果があつたと認識しています。

問 地籍調査は現在の進捗状況では127年かか

る。委託料、委託先も含め適正か。今後の展望は

答 測量等の委託は、実績のある町内業者に請け負わせており、業務は適正に遂行しています。北但西部森林組合が実施している、山林境界明確化事業等との連携をはかり、事業の進捗度を高めてまいりますと考えています。

問 3区それぞれにある国際交流協会を一本化しないのか

答 平成21年に協議がなされましたが、まとまらず一本化できませんでした。今後、各区の情報交換の機会を絶やさず、連携した取り組みのできる体制の構築に努める必要があると考えています。

問 財政状況が改善しているが、社会教育施設使用料、講座本人負担金は意味があるのか

答(教育長) 財政が苦しいからではなく、一部負担することにより意識を高めていくという部分が必要と考えます。

討論

一般会計

反対討論

谷口 眞治議員

反対理由は以下の通りです。町民のくらしを支えることより、財政健全化を優先させたこと。町民負担(施設使用料負担等)を残したままだったこと。広域事業(広域ごみ処理施設等)を推進したこと。また、行革により、正規職員を削減し非正規職員への置き換えを進めたこと。以上の理由により当決算は不認定とすべきだ。

後期高齢者医療保険事業特別会計

反対討論

谷口 眞治議員

年金受給者は保険料改定によって高くなった保険料を払いたくても払えない状況だ。よって後期高齢者医療保険制度は廃止とすべきで、当決算は不認定とすべきだ。

公立香住病院事業企業会計決算

上下水道事業企業会計決算ともに認定

6月定例会に提案された公立香住病院事業企業会計決算と、上下水道事業企業会計決算は、それぞれ病院事業は総務民生常任委員会に、上下水道事業は産業建設文教常任委員会に付託され、審査がなされました。

その結果は9月定例会において報告され、いずれも全員賛成で認定されました。

地方税法改正による町税条例改正

個人町民税

- ◆ 公的年金からの特別徴収制度の見直し【平成28年10月1日施行】
- ◆ 金融所得課税の一体化【平成29年1月1日施行】

図Ⅰ【特別徴収制度の見直し】

現 行	
仮徴収額	$\text{前年度分の本徴収額} \div 3$ (4・6・8月)
本徴収額	$(\text{年税額} - \text{仮徴収額}) \div 3$ (10・12・2月)



改 正 後	
仮徴収額	$(\text{前年度分の年税額} \times 2 \text{分の} 1) \div 3$ (4・6・8月)
本徴収額	$(\text{年税額} - \text{仮徴収額}) \div 3$ (10・12・2月)

税条例の一部改正

- ◆ 主な改正点 ◆ (図Ⅰ・Ⅱ)
- ① 年間の徴収税額の平準化を図る。
 - ② 税額変更された場合や賦課期日後に町外に転出した場合も継続する。
 - ③ 特定公社債の利子は配当割の課税対象とする。
 - ④ 公社債の譲渡所得は非課税から申告分離課税とする。
 - ⑤ 上場株式等の配当所得及び譲渡所得との損益通算並びに繰越控除を可能とする。

質疑

問 損益通算の改正で課税対象は拡大するのか
 答 上場株式で損失が生じた場合、特定公社債等の譲渡益と損益通算が可能となり課税対象は少なくなる傾向が出てきます。

反対討論 山本賢司議員

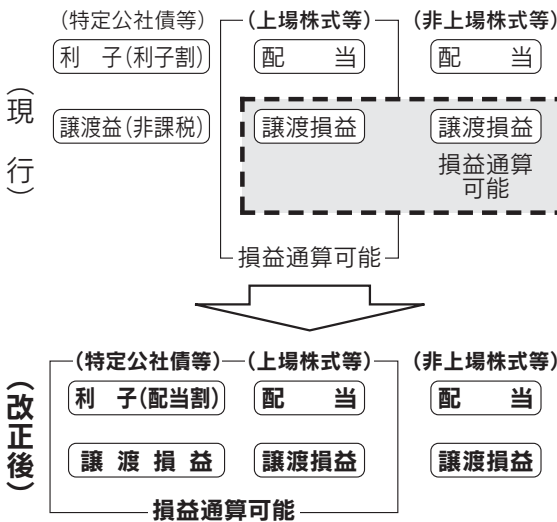
国の方針だからと言って、町の税条例を受皿にしてはだめだ。

賛成多数で可決

図Ⅱ【課税方式の改正】

区 分		現 行	改 正 後
特定公社債等 譲渡所得	利 子	利子割の源泉徴収 申告不可	配当割の源泉徴収 申告分離可
	源泉徴収 口座内	非 課 税	株割の源泉徴収 申告分離可
	源泉徴収 口座外		申告分離

【損益通算の改正】



貸付基金を町内一本化!

畜産振興貸付基金条例

小台区畜産経営安定貸付基金条例・村岡区肉用雌牛貸付基金条例を廃止し、新たに香住区を加え畜産振興のため町内の畜産農家への貸付基金条例を制定しました。

質疑

問 広域化・基金増額と頑張っているが、連帯保証人を付けると借りにく

くならないか
 答 町民の貴重な財源で運用しますので畜産

全員賛成で可決

農家にもご理解頂きたいと思えます。



平成25年度一般会計補正!!

総額2億8千749万円の増額

主な財源は地方交付税・県補助金・繰越金増によるもの



コース試走の様子

9月定例会には、一般会計・国民健康保険事業特別会計・介護保険事業特別会計・水道事業企業会計・下水道事業企業会計補正予算の5議案が提案されました。
一般会計補正予算では、北但ごみ処理施設への債務負担行為に修正案が提出され、議論が白熱しましたが賛成多数で原案を可決し、他の4議案は全員賛成で可決しました。

質疑

○京阪神への香美町事務所開設経費計上について

問 情報発信のための事務所はどこに開設するのか。また業務内容は。
答 兵庫県庁周辺に事務所を開設し、スタッフを常駐させます。旅行者やマスコミに香美町の情

○ジオパークマラソン補助金について

報提供と売り込みをし、ツアー等の考案や特産品の販売促進・流通販路の開拓も手がける予定です。
問 補助金の積算根拠は、実行委員会とすり合わせしたのか
答 実行委員会と何回かすり合わせをし、概算予

○新エネルギー推進事業費について

算の固定費の2分の1の額と備品・看板等の初期費用を補助します。追加増額は考えていません。

問 香住沖のメタンハイドレートについて、動きはあるのか

答 青山繁晴氏本人にお会いし、独立総合研究所を通じ講演の依頼をしました。講演会後も町として何らかの関与をしたい旨を県や青山氏にもお願いしていますが、進展がないのが現状です。

○柴山駅前トイレ整備について

問 整備はJRも絡んでいるのか
答 町単独で新築設置する事業です。土地はJRの所有ですので、無償譲与賃貸借契約を結びます。維持管理は地元の方で対応していただく予定です。



メタンハイドレート調査に向かう第七開洋丸

問 JR利用者が使うトイレを町が設置するということとは、今後の財政運営の重荷にならないか

答 本来ならJRにお願いすることですが、要請をしても着手がいつになるのか分からないのが実情です。柴山は観光客も多く、トイレが整備されていない状態を放置できませんので、JRに申し入れをしました。

○子牛品評会出品牛運搬補助金について

問 9月に予定していた子牛品評会が台風被害などで中止となったが、補助金はどうなるのか

答 牛を運ぶトラックを持つていない小規模の畜産農家の方は、1頭4千円程度の費用を出して農協にお願いしています。本町主催の品評会ですので、多く出品していただくためにも半額程度補助するものです。前期は中止となりましたが、後期は出品頭数も増やすよう頑張っていきたいと思っています。

北但ごみ処理施設整備費の 債務負担行為の原案を可決

期間：平成25年度～平成27年度

債務負担行為 限度額：11億8千208万円



燃料高騰に悩む漁業関係者

○燃料高騰対策事業補助金について

問 漁業者に対する国のセーフティーネット事業で、国が半分、漁業者が半分の割合で積立金を負担し、漁業者の負担に町の補助が入るとなっているが、制度の現状はどうなっているのか

答 国の制度は、1キロリットル当たりの掛金が1千700円と6千500円の間で選択ができ、当初予算では1千700

円の掛金を上限に補助制度を考えていました。現在、燃油が高い水準で高騰していますので、今回の補正で、1キロリットル当たり3千円の掛金を上限とし、その掛金の2分の1を町が補助することとしています。

○保育士等処遇改善臨時特例事業補助金について

問 この事業により、保育士賃金があがるのか。

答 保育士の人材確保対策を推進する一貫で、現在の賃金に上乘せするものですが、額は入所児童数によって変わります。全額県の補助です。

○北但ごみ処理施設整備事業について

問 ごみ減量化が言われている中で、公設民営方式で24時間連続焼却という施設は、本当に必要か

答 現在事業が進む段階で、施設が必要かどうかの議論はふさわしくないと考えます。

問 ごみ処理施設に持ち込むごみの減量化を図った場合に、本町の運営費負担額は減少するのか

答 現時点では年間運営費が決まっているので、量の構成比によっては変わらないと考えています。将来的に減量化が進み処理量が減ってきた場合には、負担額の減少もあるものと考えています。

この度の一般会計での債務負担行為補正は、北但ごみ処理施設整備事業において、本町が負担する平成25年度から平成27年度までの施設建設にかかる支出限度額の変更です。北但行政事務組合の入札によって業者が選定されたことにより、施設整備費（建設費）が当初予算より増額となり、限度額が11億8千208万7千円となりました。一方、20年間の施設運営費は、この入札により減額となりました。

修正案を提出

北但ごみ処理施設整備事業の債務負担行為補正に対し、修正案が提出されました。

提出者 山本賢司議員
賛成者 谷口眞治議員

提案理由

建設も運営も一括して入札をし、運営主体が決まっていけない組織の20年間の費用を決めること。ごみ減量化に努めても負担額が減らないことが考えられること。最低価格を明記した上、2者で入札し、1者を失格にして落札業者と契約すること。評価できない。よって、債務負担行為補正を削る。

討論

修正案 賛成討論

谷口眞治議員

1円オーバーの落札が公正であったのか、満足のできる答弁がなかった。また20年間の多額な負担が続くこと。流れに任せたいは議会のチェック機能を果たすことができないので修正案に賛成する。

修正案

賛成少数で否決

原案

賛成多数で可決

新町建設計画推進のため、新町まちづくり計画の最終期限を 平成26年度から27年度へ 1年延長をすることを可決!

◆新町まちづくり計画
変更について

質疑

問 なぜ延長をしなければならぬのか

答 新町まちづくり計画は、総合計画と密接な関係があり、合併特例債・過疎債とも関係してきます。東日本の大震災に関連して5年間の延長がでるようになっていきます。総合計画が平成28年度までの期限ですし、過疎計画が平成27年度までとなっています。いずれにしても、平成27・28年度の2年前ぐらいには、新たな見直しが必要と考えています。

線整備事業があります。1年間の延長に直接関係するのは、北但ゴミ処理施設事業です。

新町まちづくり計画は、総合計画に移行されています。前期基本計画は、ほとんど同じですが、後期基本計画は、改正に伴い変わっている部分があります。新町まちづくり計画10年の中で、8年が経過しています。

今回は県との協議の中で、最小限度の改正にしたいということで、1年間の延長を提案するものです。

問 合併特例債に支障が出るから1年の延長すると言うことか。北但ゴミ施設等も関連してくると思うが、債務まで変更する必要について説明を求めます。

答 支障が出る合併特例債事業は、北但ゴミ処理施設事業・周産期母子医療センター事業・防災無

問 過疎自立促進法に關しても27年までとなっている。これも延長されるのか。また、合併特例債を過疎債に移行する考えはあるのか

答 合併特例債は、充当率が95%、過疎債は100%です。過疎債の方が有利であると考えられます。過疎自立促進法に關しても5年の延長ができると思っています。今後の方向性

については、検討していきたいと考えています。

問 延長の法律的根拠は

答 過疎自立促進法、5年間延長については、平成24年6月27日に公布、施行され、その期限が平成28年3月31日となっているものを、平成33年3月31日までと改正されています。

反対討論 山本賢司議員

北但、ゴミ処理施設事業・周産期母子医療センター事業分担金のために27年度まで延長しないと差し障りがある。こんなものために我々が承認しなければならぬのか。分担金及び負担金・使用料及び手数料に關しての数字の説明が不明瞭である。

賛成多数で可決

～新町まちづくり計画とは?～



新町まちづくり計画は、平成16年12月に合併後の新町を建設していくために策定されました。

この計画には、「新町まちづくりの基本方針」と基本方針を実現するための「新町のまちづくり施策」、「公共的施設の統合整備」、「財政計画」などが盛り込まれており、この計画の主旨は、総合計画に引き継がれています。

美しい山・川・海 人が躍動する 交流と共生のまち

請 願

採 択

香美町の高校教育を守る請願書

請願者

村岡高等学校同窓会明倫会会長 西村 芳和

村岡高等学校PTA会長 邊見 八郎

村岡・小代区内各小中学校PTA会長など

合計2千456人

紹介議員

西村 伸一

産業建設文教常任委員会に付託され、全員賛成で採択、本会議でも採択され、意見書を兵庫県（知事及び教育委員長）に提出しました。

請願及び意見書の趣旨

村岡高等学校の普通科1学年2学級復元を求める意見書

1. 村岡高等学校の学級数を1学年2学級に復元すること。
2. 過疎地域における学級定員の弾力的運用を行うこと。



意見書

可 決

道州制導入に反対する意見書

提出者

総務民生常任委員長 西川 誠一

意見書の趣旨

道州制導入により、ほとんどの町村は合併を余儀なくされ、住民と行政との距離が格段に遠くなる。そのため、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。国は、権限・事務・税財源の移譲等を具体的に示し、国民に対して丁寧な説明をし、地方の意見を十分に踏まえたうえで進めるべきである。

全員賛成で可決、意見書を国に提出しました。

人 事

人 権 擁 護 委 員

次の方を人権擁護委員として法務大臣に推薦することに同意しました。
任期は平成26年1月1日から3年間です。



香住区余部1744番地の2
たけ うち よし あき
竹内 義昭さん



村岡区村岡717番地の1
おお た こ
太田 しづ子さん

町道川会丸味線道路 災害復旧工事請負契約

決まる!!

◆町道川会丸味線道路災害復旧工事

内容

平成24年2月23日から平成25年6月24日にかけての地滑りにより被災した町道川会丸味線の災害復旧工事の施工を承認するものです。

質疑

問 最低制限価格を上げてはどうか

答 今後、上げる方向で考えていますが、検討させていただきます。

問 地滑りに関しては、大丈夫か

答 表層的な地滑りですので、地下水を抜く工事や硬い岩盤まで杭を入れ、地表の滑りを止める工事も含まれています。

全員賛成で可決

◆請負契約の内容

- 契約の目的：町道川会丸味線道路 災害復旧工事
- 契約の方法：8者による指名競争入札
- 契約の金額：金6千890万1千円（税込）
- 契約の相手方：香美町香住区森499番地
（株）西山工務店
代表取締役 西山 嘉一

議案の審議結果

*全員が賛成の議案は、表示していません。

議案名		議員名																		
		岸本 正人	藤井 昌彦	見塚 修	徳田喜代子	西谷 尚	山森 昭夫	山本 賢司	谷口 眞治	寺川 秀志	森 利秋	田野 公大	橘 秀太郎	西川 誠一	上田 勝幸	西村 伸一	西坂 秀美			
9月定例会	議案第93号	新町まちづくり計画を変更することについて	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第94号	香美町税条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第95号	香美町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第98号	平成25年度香美町一般会計補正予算(第2号)【修正案】	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		平成25年度香美町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第82号	平成24年度香美町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第84号	平成24年度香美町後期高齢者医療保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○…賛成 ×…反対 ※議長は採決に加わりませんのでーで表示しています。

町政を問う

9月定例会での一般質問は、9月17日と18日に13名の議員が町政全般について質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



わくわく ドキドキ チャレンジプラン!!

学校統廃合問題の鍵はチャレンジプランの取組であると考える中、①香



藤井 昌彦 議員

チャレンジプランは統廃合の鍵？ 任せられる小規模校を目指します

美町学校間スパー連携チャレンジプランの「学習のねらい、めあて」に對しての学習達成度、進捗状況について子供たち、保護者、学校、教師等に変化があったのか、なかったのか、具体的に問う

②現段階での学習達成度の見通し、学校統廃合問題を含め、今後の方針について具体的に問う

【教育長】①一学期は試行時期であります。子供たち、保護者もチャレンジプランを楽しみにして、泳げない子供が泳げるようになったと聞いています。教育委員会として



新たな展開のもとに



寺川 秀志 議員

小代区の振興をどのように考えているか 民間企業の実力発揮で、振興はできます

おじろ観光協同組合は、スキーリゾート会社のグループに加わったが、運営・業務の分担はどのようになるか。

また、町へ返済しなければならぬゴンドラリフト管理費弁償受入金の残金4千270万円をどのように考えているか。

今後、(株)マックアース社におじろスキー場を基点に小代区全体のコーディネートをお願い、それを町が支援すべきだと思ふ。小代区振興のため高度な政治判断を期待する

【町長】運営・業務の基本合意はできているようですが、正式な契約では

ないで答えられません。ゴンドラリフトの管理費弁償受入金は、4千数百万円程度溜まっている状況です。ゴンドラは町のものなので、約束どおり支払っていただけのものが一番ですが、今後も協議を進めてまいります。(株)マックアース社に経営権の譲渡が正式に決まった中で、民間企業の実力を発揮されれば、小代の振興に繋がります。



荒れる農地

庁舎周辺地域の農振をはずすべき 今、そこまでは考えられませんか



上田 勝幸 議員

庁舎周辺には、幹線道路が何本も走っており、大型店舗ほかにいろいろ

業種の店もあり、香住区の中心地・目抜き通りだと思ふ。

その周辺が、ただ田畑が広がるだけ、雑草が生い茂るでは殺風景の上もない。

香住の良さ・魅力を発信するのにこの地を利用できないのか。香住は

賑わいのある町だと印象づけ、売り出すためにも農振をはずすべきだと考えるが

町長 庁舎北側では、開発利用目的による除外の申請があつた場合、除外の検討はしますが、それ以外の地域は優良農地

が集積している所であり、水田の持つ多面的機能を考慮しますと、行政として、農業振興策を進めることが大切だと考えています。

また、香住谷川の氾濫を契機に、県に対策を求め、森谷川から香住谷川の整備が実現に動き出したところで、当分、そちらの方を考へることはできません。

商店街の街路灯の維持管理は 各地区で対応をお願いしたい



西川 誠一 議員

香住区、村岡区、小代区の商店街には多くの街路灯が設置されているが、老朽化が進み、会員の減少等から光熱費や修繕に経費がかかり、維持管理に苦勞されていると聞く。

街路灯は防犯灯としての目的もあり永年その役目も果たしてきている。昨年、新温泉町の街路灯が三基倒れ、小代区でも街路灯に設置してある看板が軽トラックに落ちてきたという事案もある。このような状況に町はどう対応するのか

町長 街路灯は各地区の商工業者の宣伝用と商店街の賑わいのために設

置され、あわせて防犯灯の役割も果たしています。維持管理に係る経費も各地区によって負担方法に差異はあるものの、基本的には設置者の負担で行われるものです。

各地区の会員の減少などで維持できなければ、残された会員の中で負担を増やしていただいで維持管理していただくことをお願いせざるを得ないです。



危機!! 老朽化が進む街路灯



耐震化工事を待つ長井小学校



初めての給食！おいしいね

学校耐震化は県下最悪、整備を急げ!!
長井、余部小学校舎は年度内調査、来年度夏工事



見塚 修 議員

県下で一番遅れている学校の耐震化工事。学校は児童・生徒が家庭の次

に長くいる場所であり、かつ災害時の住民の避難場所であったり、地域住民の交流拠点の場である。6月議会では国の補助金の範囲とか、学校統合とは切り離して考えるとか言われているが、教育と安心・安全は町の根幹にかかるとのである。

学校耐震化のスピードアップを図るべきである
町長 本町の学校耐震化率は57・9%と県下で一番遅れています。児童・生徒の安心・安全を第一に考え、耐震化と学校統合は切り離して進めます。長井、余部小学校の校

舎の耐震化は12月補正で今年度中に設計できるように措置し、来年の夏休み期間中に耐震化工事を完了できるように予算化します。
 奥佐津、長井、余部、兎塚、射添小学校の体育館については、耐震化診断の結果により財政状況を考慮しながら、順次耐震化を進めます。



徳田喜代子 議員

給食時の食物アレルギー対策は
入学入園時に対応調査しています

香美町では食育教育や地産地消促進のため「日本一のふるさと給食」の取り組みが行われているが、給食時の食物アレルギー対策はできているか。
 ①食物アレルギーを有す

る児童生徒数と今迄の症例数②アレルギー原因食物を使用しない献立づくり③緊急時の「エヒペン」使用対策④災害等非常時の住民へ提供する備蓄食品のアレルギー対策、以上4点について伺う
教育長 ①全児童生徒数1千717名中、対象は105名です。今迄ピワ等3事例がありました。②原因食物を除去した除

去食や代替食を43名に提供しています。③アナフィラキシー症状の対象者は2名います。町のマニュアルを作成しエヒペンの使用方法の実践研修を行っています。
町長 ④町の備蓄食糧はアルファ米と保存水2千人分です。アレルギー対応はしていませんが、今後検討しますので各家庭でも備蓄をお願いします。



ラジオ体操で毎日頑張る高齢者

ラジオ体操、高齢者対策としても取り組み 健康維持や介護予防のため推進します



森 利秋 議員

(1)教育委員会として町民の体力づくりのためしっかりラジオ体操に取り組

むとのことだが具体策はどうする。(2)ラジオ体操は高齢者対策としても取り組むべきである。①年約31億円の医療費削減の観点から健康課としてどう取り組むか。②介護保険は年約21億円、介護予防の観点から福祉課としてどう取り組むか

【教育長】 (1)スポーツ推進委員や町職員23名が指導員講習を受けました。また小中学校の体育の先生も受講しました。町内全区長さんへラジオ体操のCDを配布し、集落での取り組みに活用して頂くようにしています。希望される方にもCDを無料

配布しています。今後定着を目指してラジオ体操講習会を開催致します。
【町長】 (2)ラジオ体操は各種神経を刺激し血液循環を促進する効果や継続的に実施することで身体の維持増進に貢献できます。各課も高齢者対策として健康維持や介護予防のためラジオ体操に取り組みます。



デイサービスでお菓子づくり

介護保険サービス低下は許せない サービス低下にならない計画を



山本 賢司 議員

町は平成27年度からの介護保険事業計画策定のための事業者調査を今行っている。

国では、要支援1、2の方の介護サービス利用を取り上げ、町の地域支

援事業にする、要介護1、2の方は特養ホームには入れない、などの利用制限で介護費用の増を抑えようとしている。
自助・共助が強調され社会保障を保険に変えようとしている。介護保険に責任を負う町長としてどう対応しようと考えているのか

【町長】 社会保障制度改革国民会議報告が出され

確かな社会保障を将来世代に伝えるため、として自助・共助・公助の組み合わせで、医療・介護・子育てを国と地方が共同で支えるとしています。
次期は地域包括ケア計画とし、認定者の三割を占める要支援者には、サービス低下ならぬよう町の職員体制を整えて、地域ボランティアや介護事業者の協力も得る計画を策定します。



リニューアル前の海の文化館



橋 秀太郎議員

①山陰海岸ジオパークの今後の取り組みの予定はどのようなものを考え

山陰海岸ジオパーク等について 今後の更なる充実を目指します

ているか。②現在リニューアル中の海の文化館はどのようなコンセプトで改修し、完成後はどのように活用するか。③ジオマスタ、ジオパークガイドの今までの成果と今後の取り組みは

町長 今後の取り組み

としては、山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携し、町内の盛り上げを図ります。また、海の文化館は、自然学校の受け入れとともにジオパークPR拠点・観光拠点・人材育成拠点としてハード・ソフトを兼ね備えた施設を目指します。ガイド養

成に関しては、マスター講座受講方法、機会の拡大も含めて多くの皆さんにジオマスター資格を取得していただく機会を増やします。



二つの町をつなぐ「ジオロード」を県道に



谷口 眞治 議員

ジオパークロード整備について問う。①香住海岸美をサイトできる散策路の整備を進めないか。②町道余部・御崎線と林道三尾・御崎線は日本海の眺望が良く、夜の漁火

の散策路は、3つの近畿自然歩道日本海ルート、散策モデルコース、香住海岸東ルートなど整備し

町長と一緒に県に働きかけていく所存です。

取り組み！漁火道路の県道昇格を 新温泉町と一緒に取り組む所存です

がきれいで「漁火ロード」と呼ばれている。道の駅「あまるべ」や余部鉄橋「空の駅」を結ぶジオパークロードとして役立つ。当道路の県道昇格をめざし、新温泉町と県に働きかけるつもりはないか

ており、新たな整備は考えていません。既存散策路の改修や案内看板設置、指標デザイン統一などを図ります。②当道路が、県道として整備されることは香美町にとって大変意義があります。県道昇格には相当高いハードルが予想されますが、可能性を新温泉町と模索していけたらと考え、新温泉町長と一緒に県に働きかけていく所存です。



町民のためがんばる職員



廃屋となった空き家

空き家の現状把握と対策は？ 適正管理指導を行っていききます



田野 公大 議員

空き家の増加が社会問題となっている現在、国・県においても法整備等の

対策が検討されている中で、地元周辺にも空き家は多くあり、問題が潜在的にあるのではないかと危惧している。香美町においても年々増加の傾向があると地区を回ると実感する。今こそその対策が急がれると思うが、町としての現状把握、これ

までの取り組み、今後の取り組みはどうするのか
問う

町長 空き家の現状把握については、平成24年度に空き家の総数及び危険家屋等の調査を行いました。空き家総数406件、うち危険空き家61

件、うち緊急に対応が必要と思われる危険空き家15件でした。今後の対策については、あくまでも個人資産であることを前提とし、所有者の適正管理を原則に地域との情報共有に努め、空き家抑制と住宅所有者への適正管理指導を行っていききたいと考えています。

職員の人事異動と昇任について 適材適所を基本としています



岸本 正人 議員

①職員の人事異動について、ほとんど全員異動して新しい職員が来ている例があった。また、不定期な異動が多かった気がする。事務の停滞もあつたのではと思うが、基準

はあるのか。②昇任等に試験制度はないが、今後はどう考えるのか。養父市では実施している。③嘱託職員で旧町採用別に金額は分らないが、ポーンナスのある人やない人があり、また勤務時間にも違いがある。これが正常だと町長は思うのか

町長 ①職員が異動して業務に支障を来たすことのないよう、副町長以下に十分留意して人事異動を行なうよう、今後も指示します。②昇任試験については、適材適所に町民の皆様のために働ける体制を整えることが最重要であり、当面の間昇任試験は設けません。③嘱託職員は旧町時代・新町採用等で条件の差異があります。嘱託職員組合と今後も統一に向けて話し合いを続けていきたいと考えております。

下は十分留意して人事異動を行なうよう、今後も指示します。②昇任試験については、適材適所に町民の皆様のために働ける体制を整えることが最重要であり、当面の間昇任試験は設けません。③嘱託職員は旧町時代・新町採用等で条件の差異があります。嘱託職員組合と今後も統一に向けて話し合いを続けていきたいと考えております。

その他こんな質問も しました

質問議員	質問項目
藤井 昌彦	1. スポーツ振興について
上田 勝幸	1. 地域公共交通、ゼロベースでの考えは進んでいるか
西川 誠一	1. 産業振興について問う 2. 民生委員の活動について問う
徳田喜代子	1. 安全安心のまちづくりに向け、町道・生活道路の安全対策について問う
森 利秋	1. 観光対策について問う
山本 賢司	1. "協働のまちづくり"の考え方と手法は？ 2. 町が一貫経営推進と言うのか
谷口 眞治	1. 再び小規模校対策について問う 2. 食育・学校給食について問う
橘 秀太郎	1. 花火大会等の祭りにおける屋台について
岸本 正人	1. 地域協議会の位置づけについて 2. 各集落の案内標識について



統一看板で町をアピール！



西谷 尚 議員

観光の受入体制について問う。香美町の知名度が低いようだが、町の統一的看板「カニ・但馬牛『日本一食材の町』」としてなぜアピールしないのか。観光を基軸に町作

**観光の町として、その受入態勢は！
観光振興を進めてまいります**

りを行うのなら香美町自らが3区の一体感の持てる標語と取り組みが必要。外国人旅行者受け入れ用の英語版香美町パンフレットが必要。今後、町長の観光の取り組みとして香美町の中で具体的なものはあるのか

町長 看板に関しては、今ある物の整理統合及び新たな看板設置は難しいです。3区の統一感につ

いては観光連絡協議会と共に方向性を探っていきたいです。英語版パンフレットは、但馬全域で考えるべきかと思えます。今後観光関係者と協議を進めていきます。観光についての想いは、地域柄・土地柄があり様々な難しさがあると痛感しています。今後の町の観光の可能性を皆さんと共に研究していきたいと考えています。

いんぽんあそび

(村岡区)

今回の取材は、少女バレーチーム「村岡ジュニアバレーボールクラブ」監督の中村貴幸さん(村岡区高井)にお話を伺いました。



中村 貴幸さん

チームの人数は

6年生3人、5年生4人、4年生1人、3年生5人、2年生1人の合計14人です。

チームの会費は

前期、後期に6千円ずつ徴収し、それがチームの運営費となります。

監督に就任はいつから

コーチとして1年8ヶ月



月経験を積み、2011年に監督に就任しました。

監督として日常の活動は

一人一人の個性を見極め、良い所をしつかり伸ばすことに重点を置いて活動に取り組んでいます。

監督をするうえでの苦労や悩みは

体育館の確保です。一生懸命に頑張っている子供達に対し、活動する環境を整えるのが私の役目だと思っておりますが、調整が難しいです。



日々の活動を通じて感じることは

「心とボールをつなげ!!」をスローガンにバレーボールはもとより、心の強さ(大切さ)を伝えていきます。その中で感じることは、「子供達の可能性は無限である」ということです。日々の積み重ねで、ここまで進歩するものなのかと驚かされたり、心の成長が見受けられた時は監督冥利に尽きると感じます。

村岡ジュニアバレーボールクラブの歩み

1999年に結成し、今年で14年のクラブチームです。その年々の子供達の頑張る姿を応援し、監督、コーチ、保護者が一丸となってサポートし、数々の良い成績も収めています。

「感謝する」「礼儀正しく」「思いやりをもつ」「努力する」「時間を大切に」という目標を一人一人の胸に刻み、バレーボールの技術も心も成長するように日々頑張っています。

今年地域での行事にも参加し、チームみんなが心一つにして達成する事ができました。まだまだ、発展途上の村岡ジュニアバレーボールクラブです。温かく見守ってやってください。

議会に対し意見がありましたら

子供達は、同じ目標に向かって日々頑張っています。そんな香美町の子供達が所属する各団体に助成金(応援費)をいただけたらと思えます。その事で活動の幅や子供達の視野も広がり、さらに香美町の子供達が輝いていくのではないかと思います。



編集後記

収穫の秋が到来し、9月定例会を開催した矢先、低気圧と前線の影響で無南垣、訓谷両地区の約230世帯、約730人に避難勧告が出され最大15世帯25人が避難されました。上計地区では住宅2棟が床下浸水し、独り暮らしの男性が自主的に公民館に避難されました。災害はいつやってくるかわかりません。大自然が相手で想定外の事ばかり。

しかし今、自分たちの力でできる事は最大限備えをすることです。今こそ、町民の「安全・安心」の町づくりの総点検の時ではないでしょうか。

編集発行責任者

議長 西坂 秀美

- 副委員長 橘 秀太郎
委員 徳田喜代子
委員 藤井 昌彦
委員 西谷 尚
委員 山森 昭夫
委員 田野 公大
委員 西村 伸一

広報公聴常任委員会

- 西村 伸一